

# 最終成果報告 日本語の能力の向上



大分県立聾学校 野中 栄治

# 対象生徒の実態

○中学部2年生(男子)

○聴覚障がい

聴力(裸耳) らじ 右100dB デシベル 左118.75dB

# 聴カレベルのイメージ

dB(デシベル)・・・音の大きさ

0 ~ 30	ささやき声	相手の耳もとで ヒソヒソ話の声
30 ~ 50	小さな声	すぐ近くにいる友だ ちと話す時の声
50 ~ 70	教室の中の音	授業中の先生の声 友だちとの会話の声
70 ~ 100	大きな声	電車の中 車のクラクション
100 ~ 120	耳もとの大きな声	ジェット機 非常ベル

← 一般的な聴者

← 対象生徒

聴カレベルのイメージを分かりやすく言いますと、聴者の平均聴カレベルは25dB(デシベル)以内で、対象生徒の100dB以上とは、耳元で大きな声を出して話しても理解できないくらいのレベルです。

出典：大分県立聾学校聴能部 資料

# 対象生徒の実態

○補聴器の装用はなく、音声は使わない。

第1言語は日本手話である。家族は全員ろう者であり、日常生活の中では日本手話を使って円滑にコミュニケーションを図っている。

○手話ができない人とのやりとり

→文字・絵・指文字・指さしなどを活用してコミュニケーションを図る。



# 日本手話と日本語対応手話の違い

日本手話は、日本語とは別の、独立した言語です。独特の文法体型をもって、日本語とは語順が違います。手の形・位置・動きに意味があるだけでなく、肩の向き・うなずき・顔の表情・眉や口の動きなどにも文法的な意味があります。

これに対して、日本語対応手話は、日本語の語順で手話単語を並べたもので、その原型は聞こえる人によって作られました。

# 日本手話と日本語対応手話の違い

(例) 私の名前は野中栄治です。

(日対) 私/の/名前/は/野中栄治/です

(日手) 私/名前/ 何 /野中栄治/ 言う  
(うなずき) (うなずき)

(例) いつ学校から帰る？

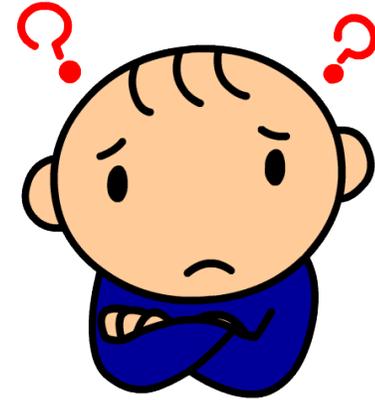
(日対) いつ/学校/から/帰る/?

(日手) 学校/帰る/いつ/あなた  
(上目)

## 対象生徒の実態

○学力については、普通の中学校に準ずる教育課程で学習を受けている。

困っていること



○日本語を理解したり、日本語で表現することが苦手である。

○手話ができない教師とのやりとりの中、音声言語中心の授業を受けることに苦痛と感じている。

○日本語を書くことに抵抗はないが文章を書く時、文章の表現や助詞の使い方をどのように書けばよいのか悩みながら書くことが多い。助詞が抜けていたり、間違っていたりするときがある。

→文章の表現をたくさん書くことが必要。助詞の使い方や意味を知ることが必要。

○手話が使えない教師とコミュニケーションを取る時、筆談などを使ってコミュニケーションすることはできるが、手話を使えない人とたくさん話すことは少ない。

→手話を使えない人と交流する時、手話以外のコミュニケーション方法をとることが大切であることに気づく必要がある。

## ○活動の具体的な内容

- ①助詞の使い方や意味を知ることができる。  
→助詞の使い方や意味の内容を作ろう



simplemind+

### 【1】助詞「で」の使い方

『○○(材料)で～を作る』『○○(場所)で～をする』

『○○(道具)で～を作る』『○○(原因)で～をする』

『○○(範囲数:時間や金額等)で～する』を手話の表現で動画を撮り、作成した。(図1)

## ○活動の具体的な内容

- ①助詞の使い方や意味を知ることができる。  
→助詞の使い方や意味の内容を作ろう



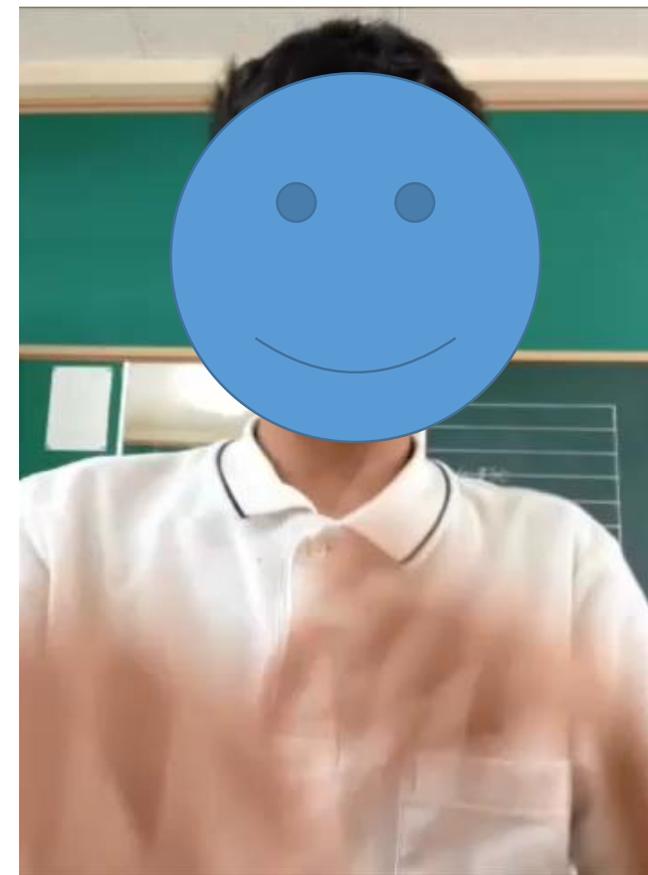
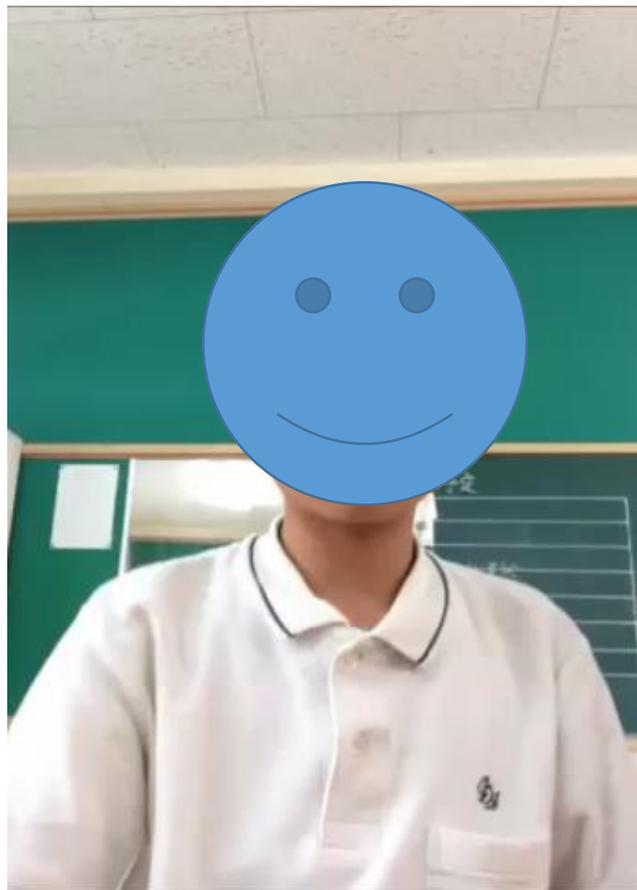
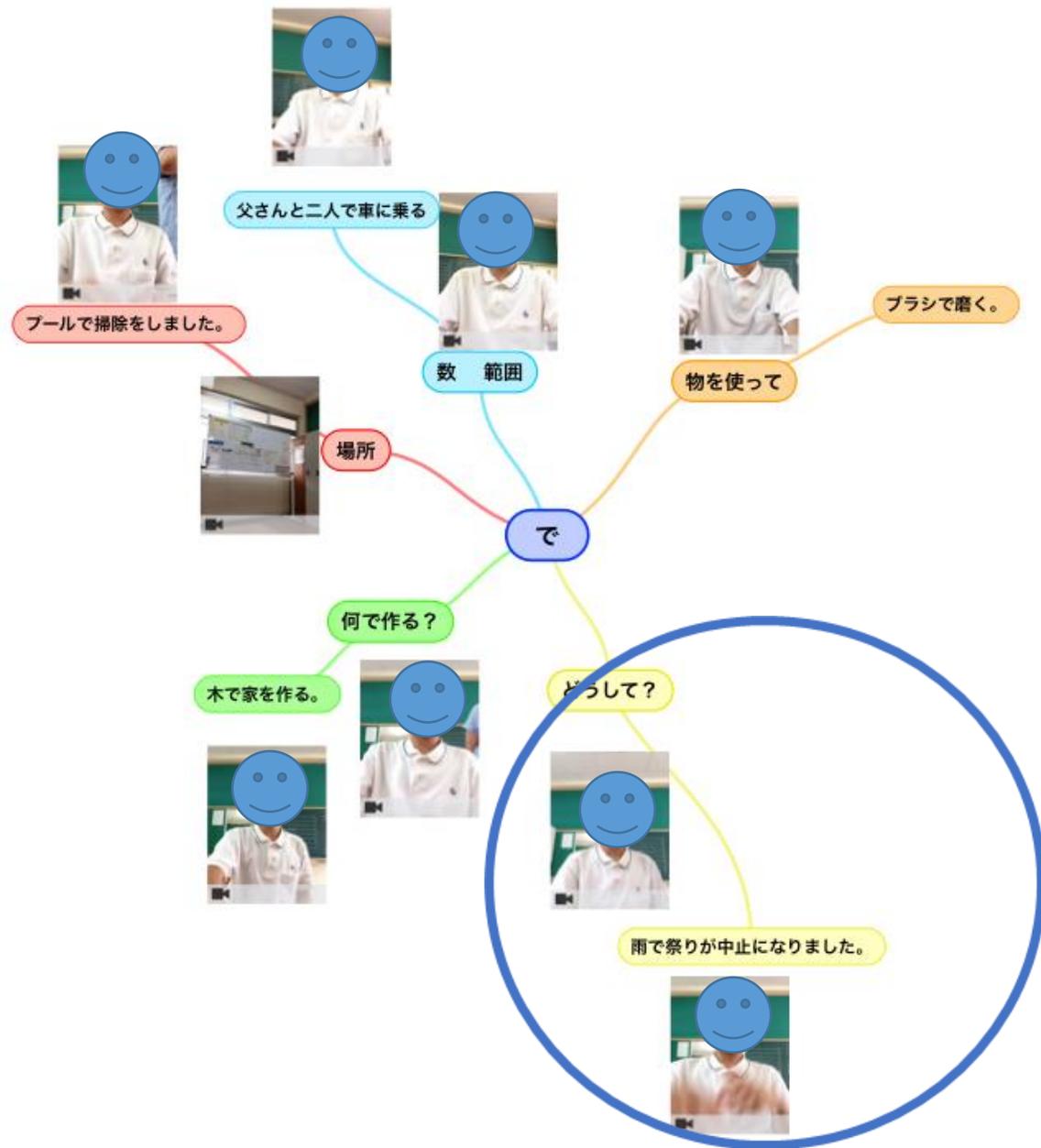
simplemind+

### 【2】助詞「に」の使い方

『○時ににする』『○○に乗る』『○○に行く』

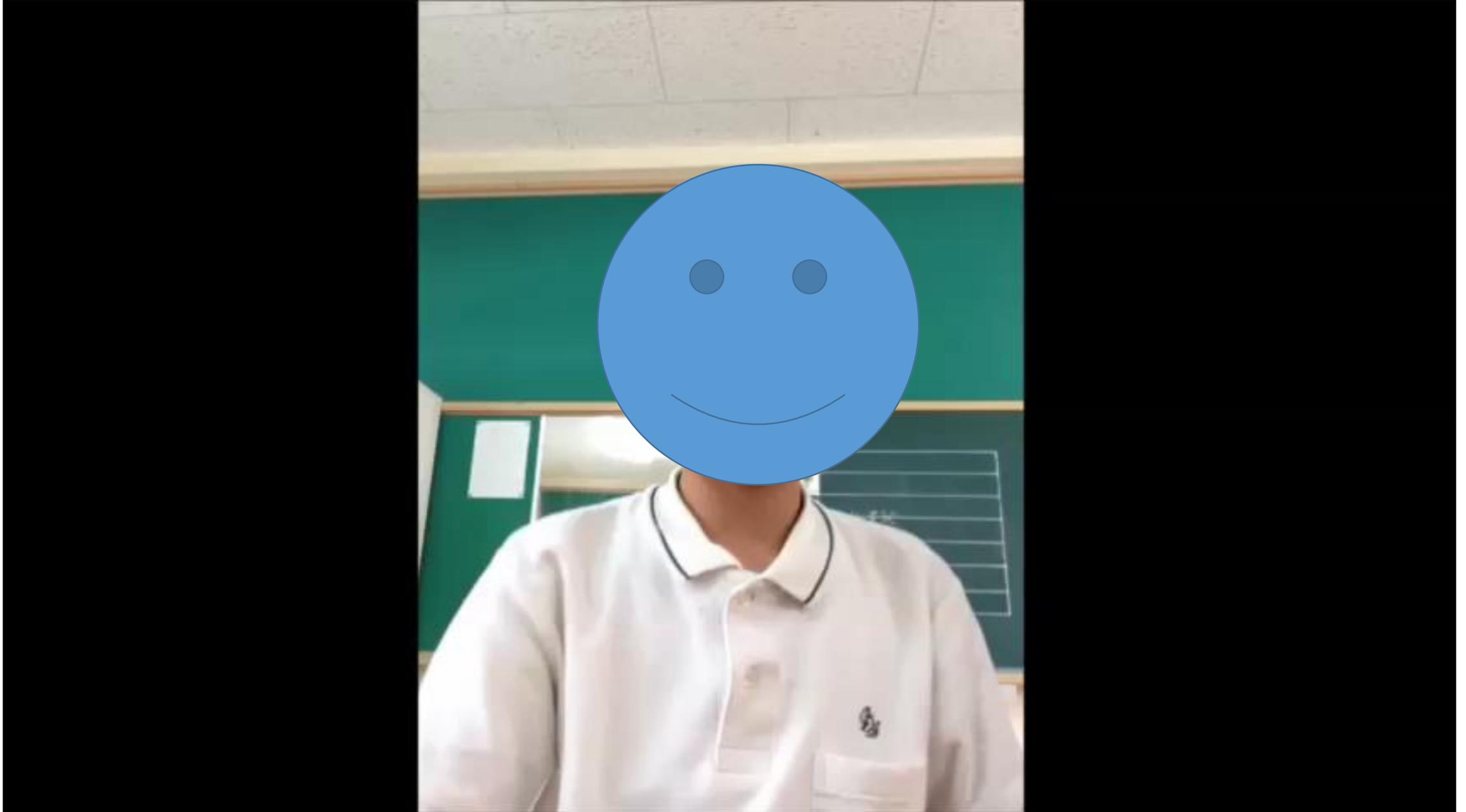
『○○に置く』『○ ○に入れる』を手話の表現で  
動画を撮り、作成した。

# (図1) 助詞「で」の使い方

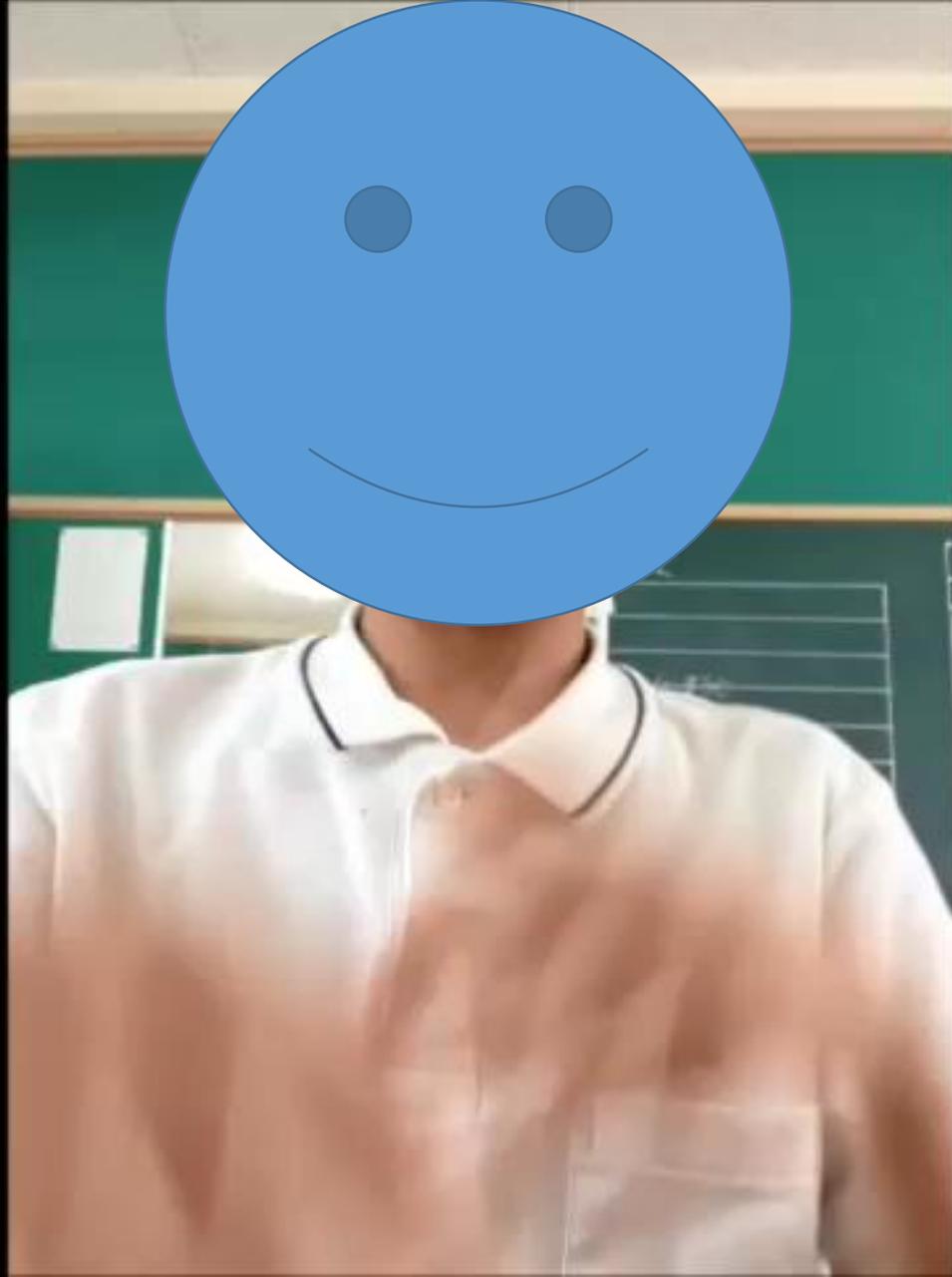


左は「どうして?」の手話の表現を、右は「どうして」の意味を、本生徒なりに考えて手話を表現しています。

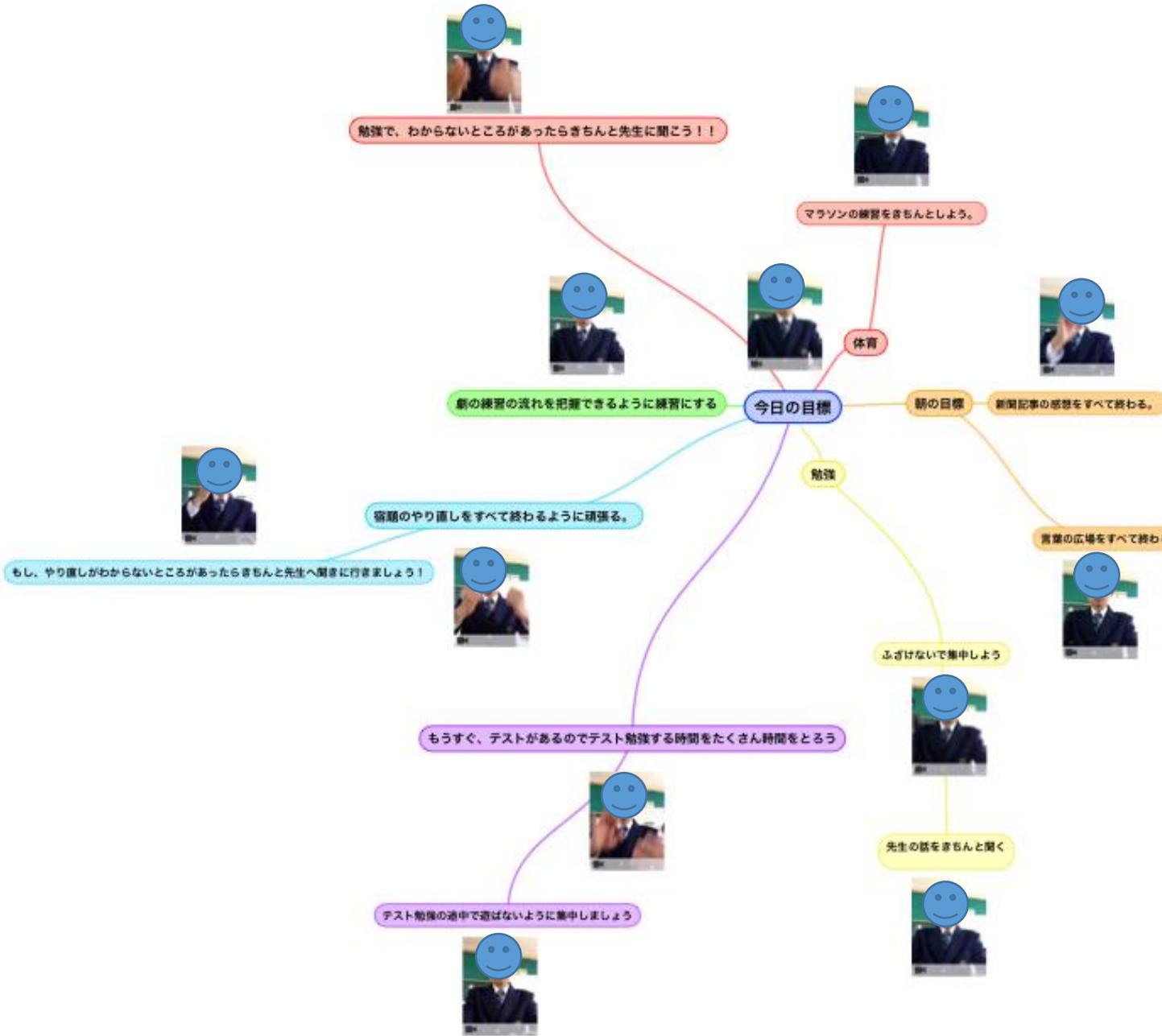
# 「どうして？」(動画)



「雨で祭りが中止になりました。」(動画)



# ②朝の会にある「今日の目標」を入力しよう



どんな目標にすればいいか悩むときに、確認して発表することができた。

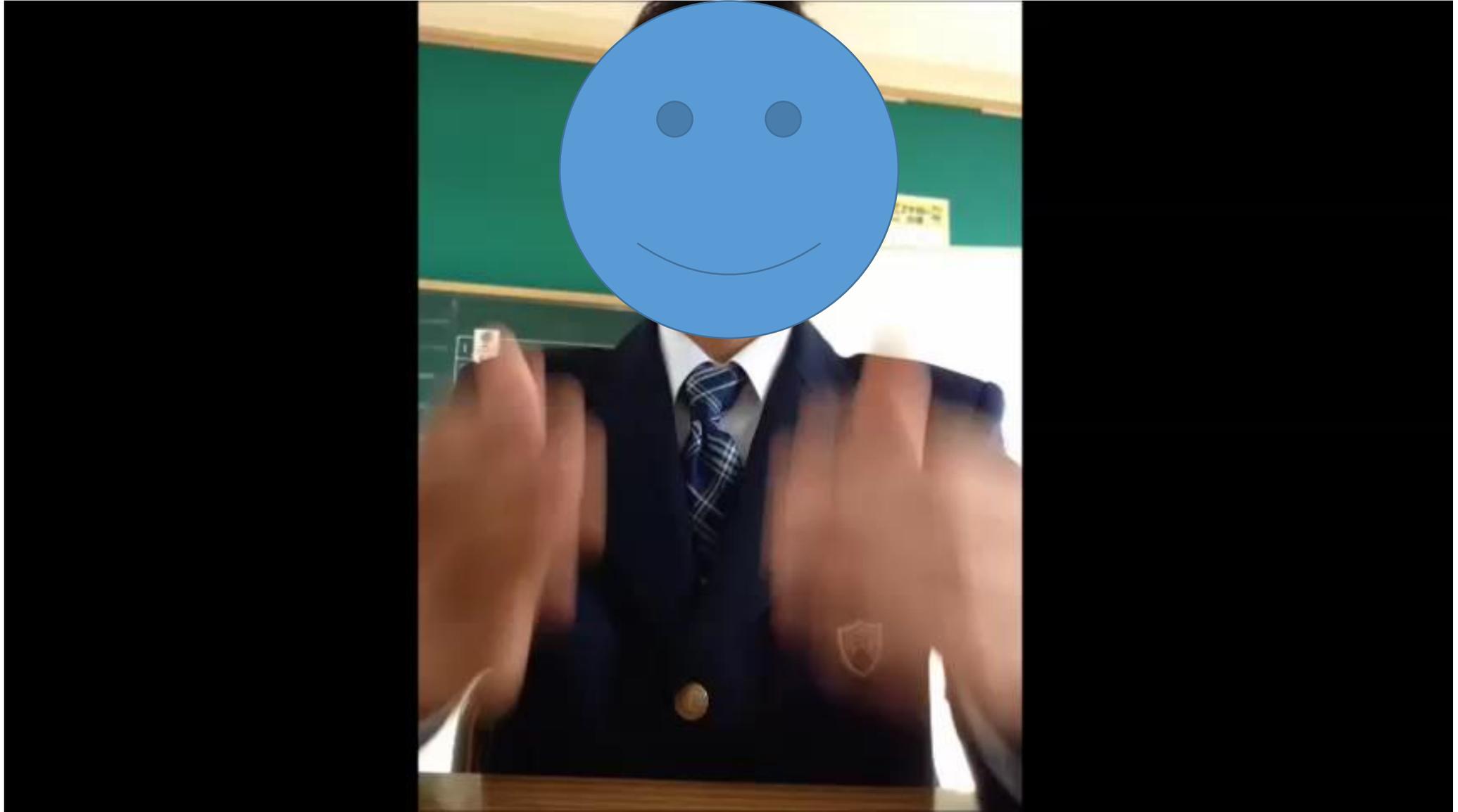
# 「ふざけないで集中しよう」(動画)



# 「劇の流れを把握できるように練習しよう」(動画)



「勉強で分からないところがあったら、きちんと先生に聞こう！！」(動画)



③授業中、手話を使えない教師が話す内容を知ることができる。

→UDトークを使って教師が話す内容を見よう



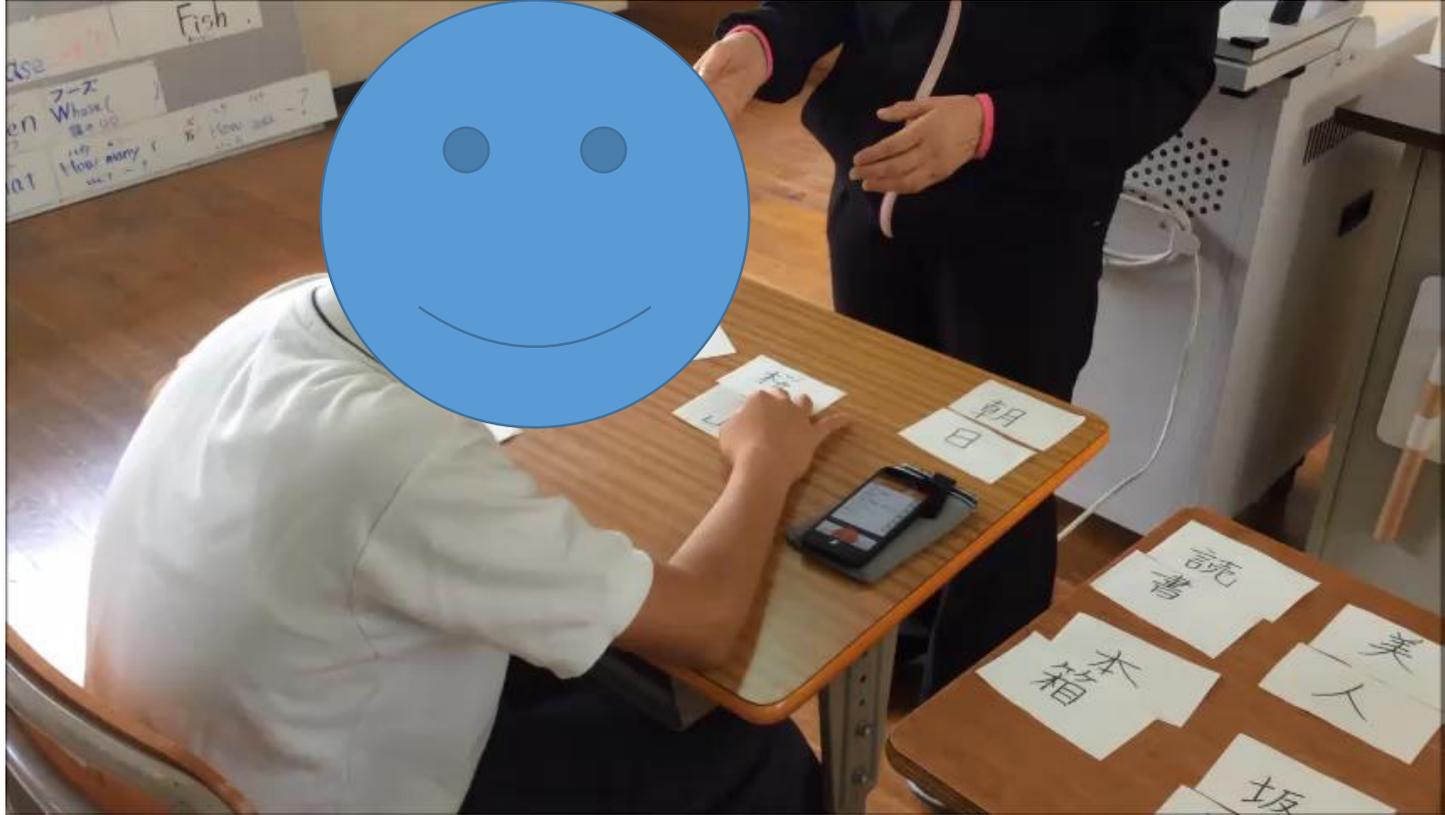
UDトーク

本生徒はこのアプリがあると、教師が話す内容を知ることができて喜んでいました。

ただし、言葉を訳する際に誤字や脱字が多く、本生徒は『言いたい内容は、これだろうか？』『間違っているみたいだが、どんな内容だろうか？』とんでいたが、その都度、教師へ確認することはあまりなかった。

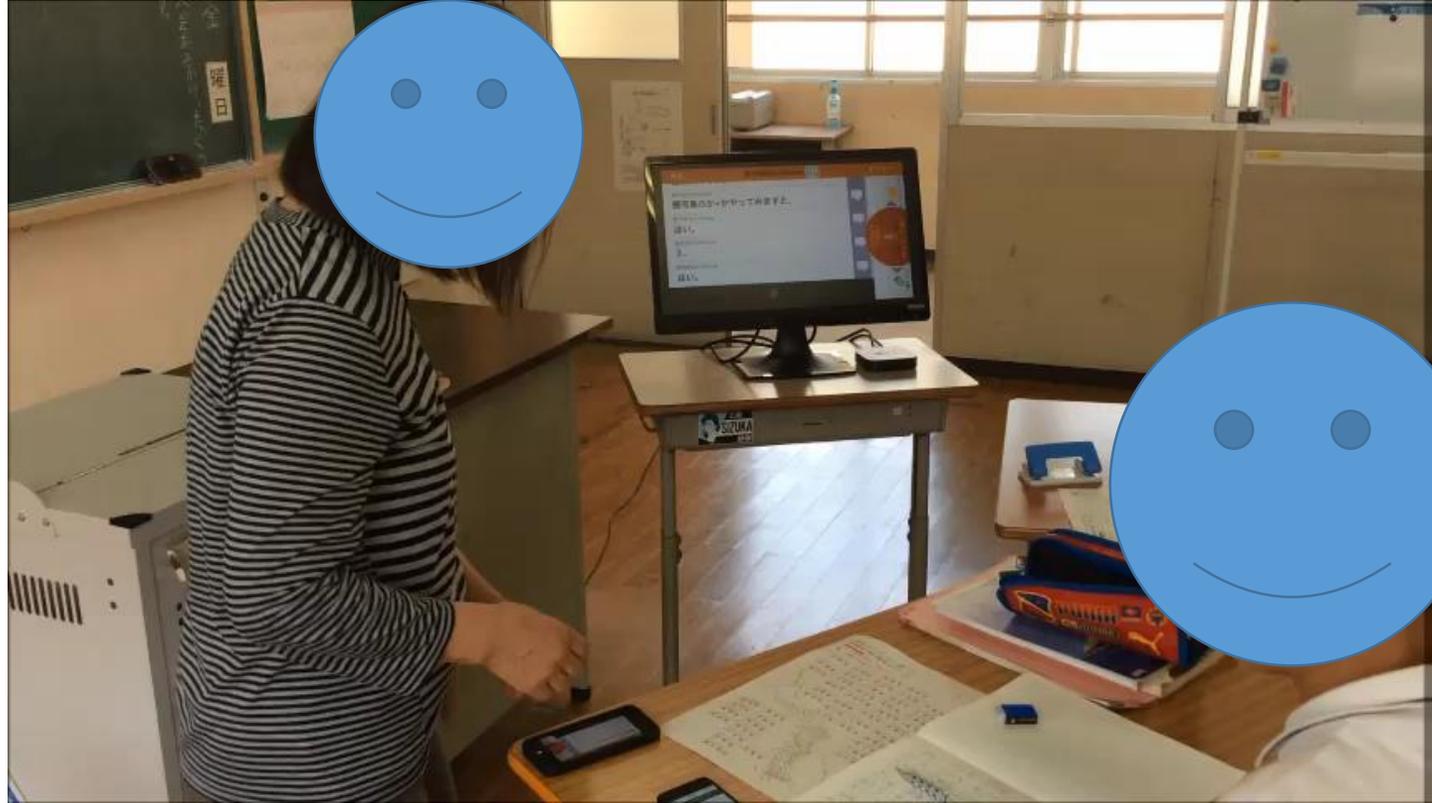


## (図2) AppleTVと繋がる前の様子(動画)



当初は、本生徒が持っているiPhoneをずっと見ていたが、教師は話す内容が間違って訳されていることを確認することができなかつた。本生徒は、教師の顔を見ないで、iPhoneの画面を見るが多かつた。(図2)

## (図3) AppleTVと繋がった後の様子(動画)



そこで、教師がiPhoneの画面を確認できるように、また、本生徒が教師の顔を見ることができるように、AppleTVと液晶モニターを使うことにしました。教師は話した内容の確認することができ、本生徒は単語の間違いがあると気づき、教師へ質問することができるようになりました。(図3)

iPhone本体だけでは音声を拾いにくいということで  
外部マイクをつけるようにした。

株式会社 ズーム  
ZOOM iQ7



【課題】

iPhoneを常に身の回りに  
持たなければならない。  
移動する途中でiPhoneと  
離れてしまうため、途切れ  
途切れになってしまう。

フォナック社（補聴器を扱う）のロジャーという機器を  
接続する方法で使ってみた。

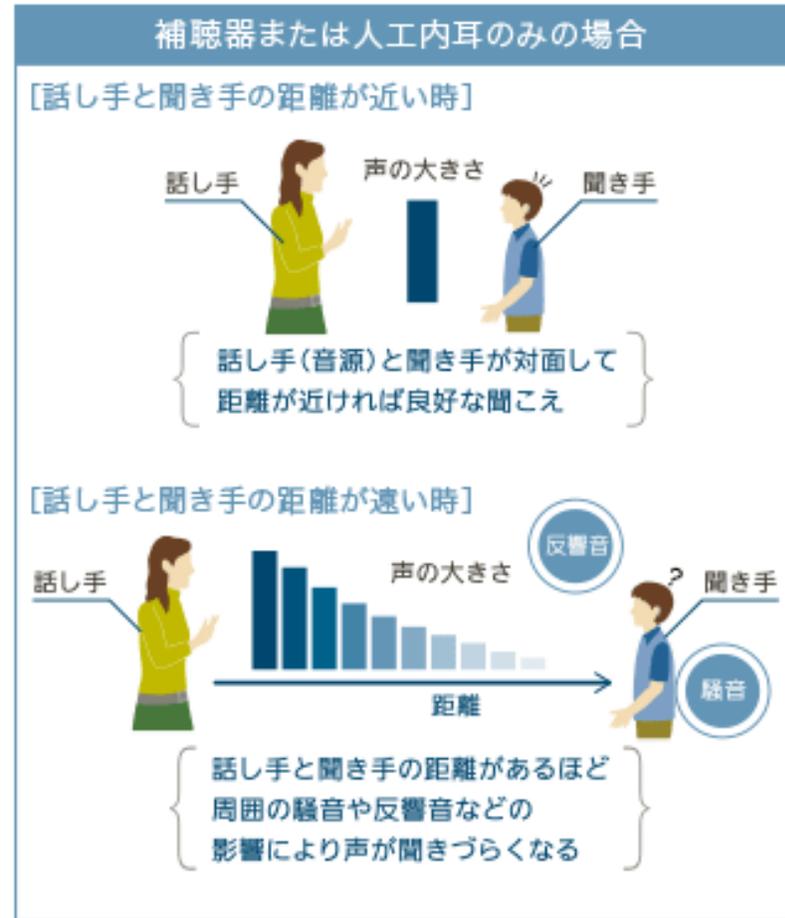


ロジャーインスパイロ

ロジャーマイリンク

iRig2

# 【ロジャーについて】

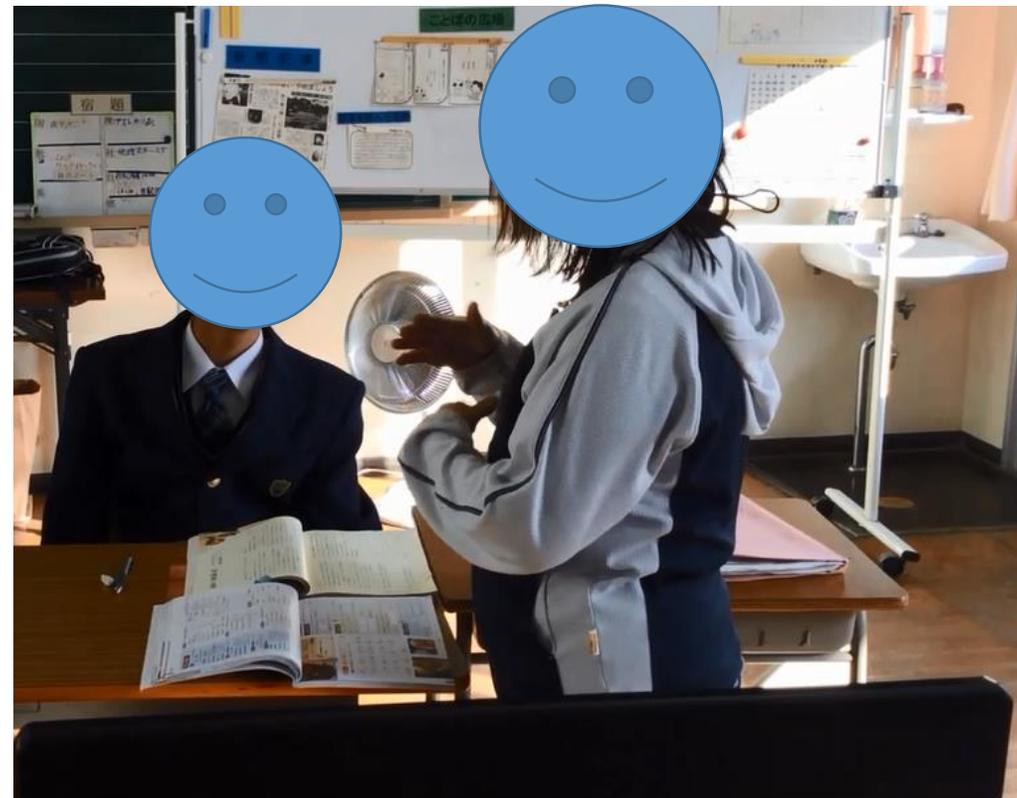
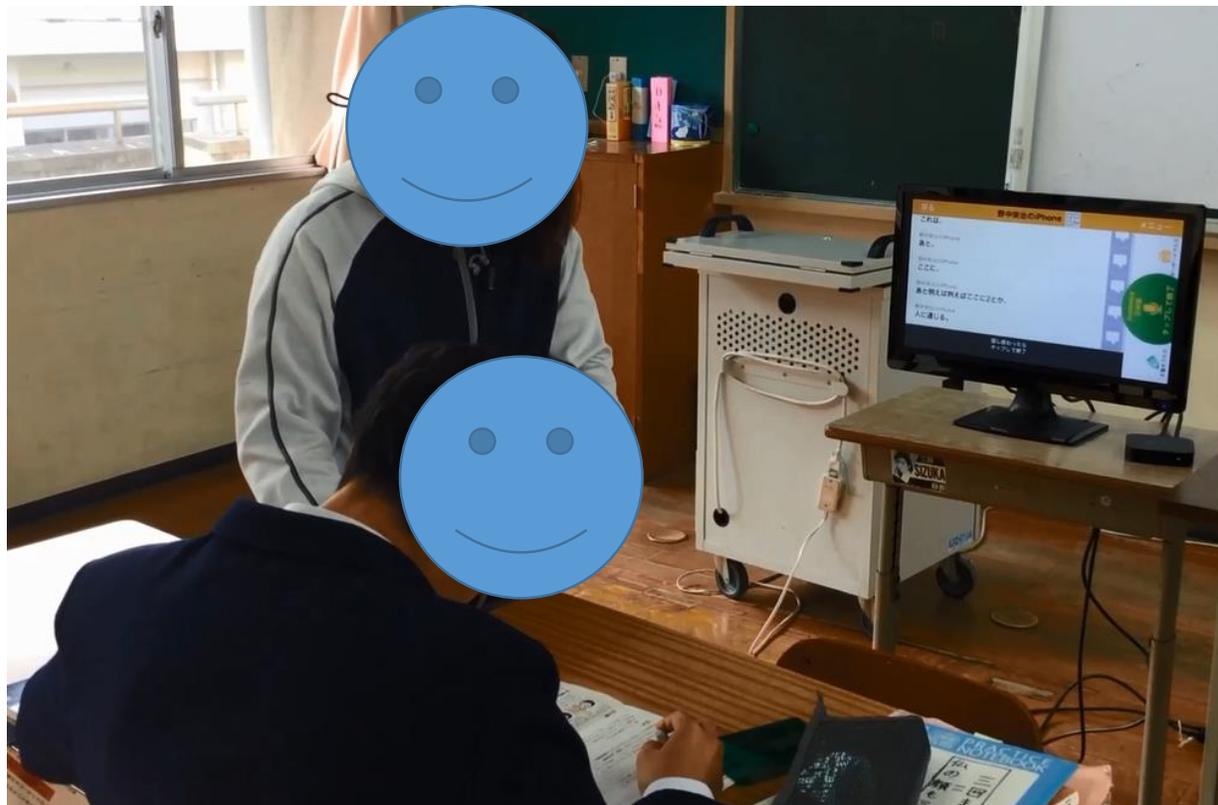


詳しい内容は、補聴器のフォナック社のHP内に載っています。

出典：補聴器のフォナック社HP 「Rogerとは」

<http://www.phonak.jp/products/roger/>

# (図4) ロジャーなどの機器と接続した様子(動画)



教師がiPhoneを持たない状態で、手話を使いながらロジャーインスパイロについているマイクを通して音声を拾うことができました。  
本生徒は今までよりも、視覚情報をたくさん得ることができたので、教師とAppleTVと自分の机と近い状態で自分なりに目で情報を得ようとする姿勢があったので、集中して授業を受けることができました。(図4)

③日記を書いて、様々な表現や助詞の使い方を覚え、  
誤った文章表現を減らすことができる。

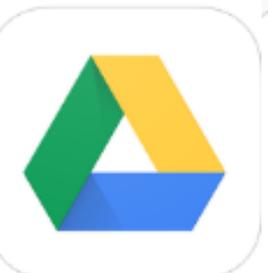
→日記アプリを使って内容を作り、間違ったところを  
確認しよう



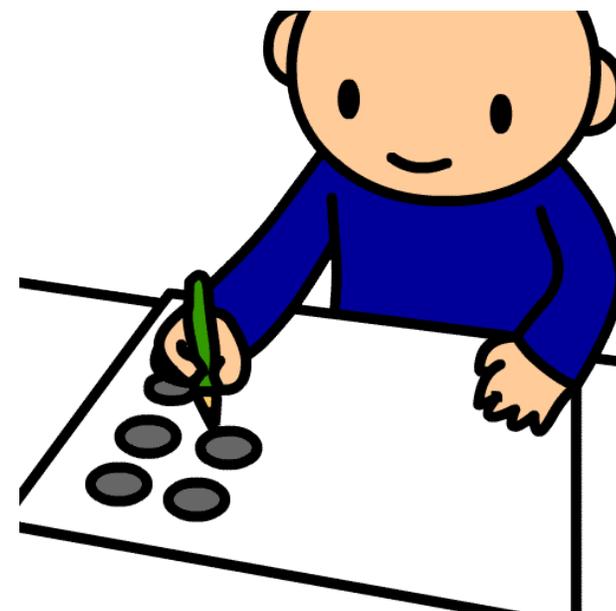
絵日記FREE



MetaMoji Note Lite



Google ドライブ



**絵日記FREEアプリの上画面に写真を貼って、下画面に日記を書く内容で、本生徒は積極的に書く姿勢が見られました。当初は書いた内容をスクリーンショットしてMetaMoJi Note Liteアプリに添付して、教師が間違ったところを赤字で書いて本生徒が確認する方法をとりました。**

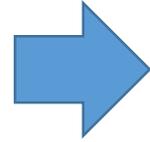
**当初は本生徒が作成した内容を朝、iPhoneを教師へ提出して、教師が修正してすぐ本生徒へ返すという手間がかかってしまったことを反省しました。もっと確認しやすいように、対象生徒が毎朝iPhoneを提出しなくて済むように別のアプリを探しました。**

**「Googleドライブ」を使って作成した内容をスクリーンショットしてGoogleドライブにアップロードし、教師が確認して修正し、日付ファイルを分けて確認することができるようになりました。**

**間違った内容をアナログ的な方法ではありますが、修正したPDFファイルを印刷して本生徒に渡してノートに書く練習をしました。**

# ○対象生徒の事後の変化

5月の日記



8月の日記



16年5月17日火 天気  
 明日は僕の誕生日  
 なので、チーズケーキを  
 作りました！明日、美  
 味しい食べ物がいっぱ  
 い食べられる！楽しみ



16年8月23日火 天気  
 と僕の髪を切り  
 ました。お母さんがバリ  
 カンでニコニコした顔で  
 切られました。お母さん  
 は楽しくても僕は楽し  
 くないです。

「切られました」の主語は、■さん  
 といとくんになるので、  
 「お母さんが、バリカンでニコニコし  
 た顔で切られました。」という文は意  
 味が伝わりません。

「お母さん」を主語にするときは、  
 「母がバリカンを使ってニコニコしな  
 がら、切りました。」となります。

「僕」を主語にするならば、  
 「(僕は)母にバリカンで髪の毛を切  
 られました。母は、ニコニコしながら  
 僕たちの髪の毛を切っていました。」  
 というようになります。



16年8月23日火 天気  
 と僕の髪を切り  
 ました。お母さんがバリ  
 カンでニコニコした顔で  
 切られました。お母さん  
 は楽しくても僕は楽し  
 くないです。

日記アプリを使い始めた頃は、作文も関連するところ  
があって、助詞が抜けていたり、間違っていたことはもちろ  
ん、何をしていたかの文章だけを書くことが多くあり  
ました。

どういう内容なのかを確認するために対象生徒と話し  
合いをして、分かったことを赤字で書き直しをして、ア  
ナログな方法ではありますが、修正された日記を別の  
ノートで書く習慣をつけました。

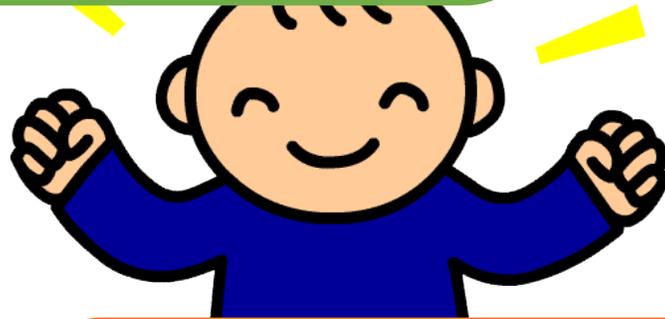
最初は間違ったところに赤字で書く方法でしたが、途  
中から時々ポイントとなるように文を書き加えました。



**5月の最初の作文では、自分一人で書く時はとても短い内容であったが、教師と話す内容は多くありました。先ほどの日記アプリや作文の指導を繰り返していく内に、10月の作文では自分の力だけで、「したこと」だけでなく「思ったこと」なども含めて原稿用紙の半分以上を書くことができるようになりました。**

## ○気づきとエビデンス

手話ができない教師の授業を受ける時、UDトークを使えば良いんだ。

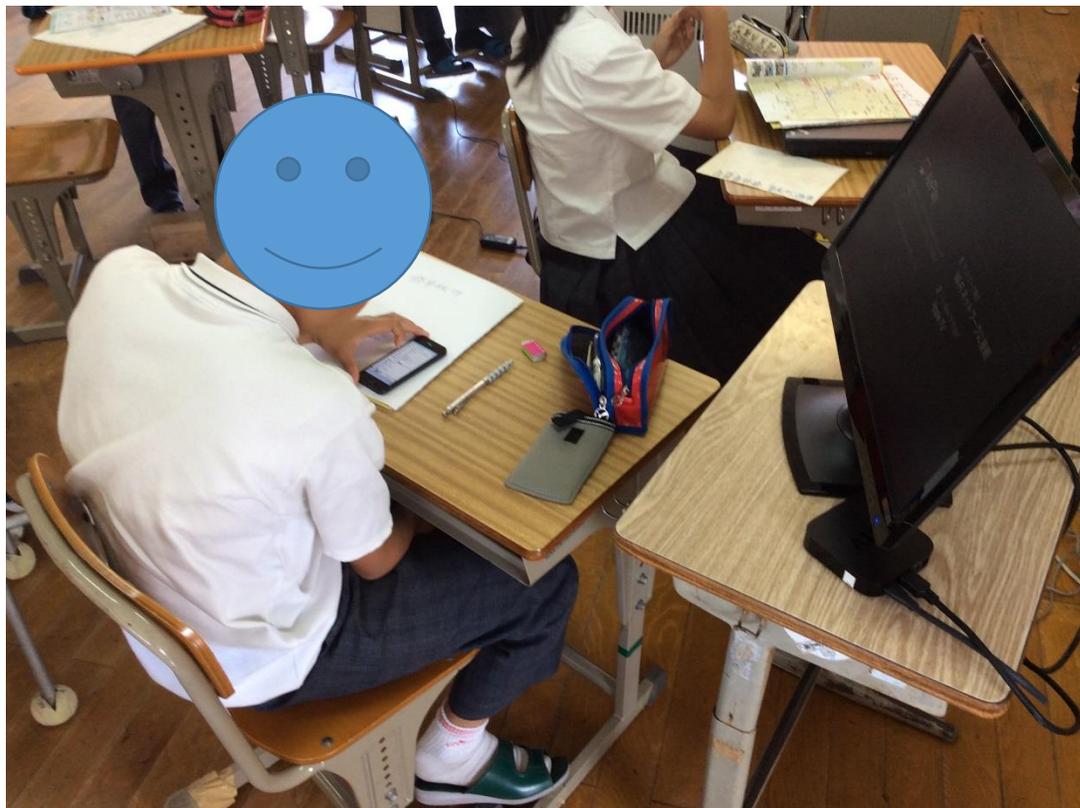


日記に書く内容を増やし、もっとたくさんのことを伝えたい。

**手話ができない教師の授業を受ける時、自分からiPhoneとAppleTVを接続して、UDトークを開いてから授業を受けることが多くありました。UDトークの内容が分からない時、自分から教師へ質問することも増えてきました。**

**現在は、絵日記FREEで日記を書く内容の字数が足りなくて困っている。もっとたくさん書きたいという意欲が出てきました。**

# あるエピソード



ある総合学習の時間の時、  
3年生と一緒に修学旅行に  
ついての学習を受けている  
時...

**総合的な学習の時間で、中学3年生と一緒に修学旅行についての学習をしました。その時、対象生徒は自分からAppleTVと繋いでいるモニターを置いてある机を皆のいる教室へ持って行き、iPhoneを使って調べていました。**

**調べていたところをモニターで他の生徒や教師へ見せて説明する姿がありました。**

**ご静視ありがとうございました。**